

岡山畜産便り

2025 2

令和7年2月27日発行 第七十六巻第二号



倉敷市 難波牧場ご家族(酪農)

も く じ

〔特集〕

家族で歩む資源循環型酪農

(一社)岡山県畜産協会 経営支援部 1

〔肉用牛施策〕

岡山県の肉用牛振興施策について

岡山県農林水産部畜産課 8

〔県民局だより〕

「GOGO千屋牛！応援事業」で北海道全共へ！

備中県民局畜産第二班 11

〔技術のページ〕

鳥インフルエンザ発生農場における鶏ふん等処理対策

～低水分鶏ふんに対する適切な含水率の探索～

農林水産総合センター畜産研究所 13

〔家保のページ〕

牛ボツリヌス症とその対策

津山家畜保健衛生所 15

〔畜産現場の声〕

新たなスタート

倉敷市 難波 晃大 17

〔トピック〕

1年を振り返って

(一社)岡山県畜産協会 武元 のの香 18

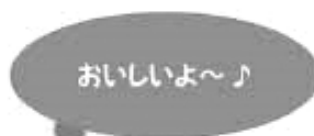
〔センムのヒトリゴト〕

分断する世界に未来なし

(一社)岡山県畜産協会 中塚 陽二郎 19

動物用 カルシウム剤 ダービー

ダービーは貝化石の
微粉末であり貝化石には
カルシウムや各種ミネラルが
豊富に含まれています。
カルシウムの供給源として
搾乳牛や子牛にも
最適です。



JYUCHIKU Co., Ltd. 株式会社ジュウチク

〒701-1521 岡山県岡山市北区日近 726
Tel.086-295-9230 Fax.086-295-9240
Email : jyuchiku-info@po.oninet.ne.jp

健康な仔牛づくりへの
一歩目はこれから！



弊社では、四十年余り培ってきた醗酵技術を用
いることで、乳酸菌やその他の菌類を使用した良
質な醗酵飼料を、肉用・乳用を問わず、全ての
ステージの牛に対して提供しております。

また、弊社ではこれらの技術を利用したオーダー
品の設計や生産、飼料米の粉碎などの原料の
加工も承っております。

原料を持込での加工依頼や、御要望の数量の
多寡を問わず、まずはお気軽に御相談下さい。

醗酵飼料のパイオニア

フタバ飼料株式会社

〒709-0841 岡山県岡山市東区瀬戸町万富1057-1

TEL 086-953-0832 FAX 086-953-1870

E-mail : futabashiryo.co.jp

〔特 集〕

家族で歩む資源循環型酪農

(一社) 岡山県畜産協会 経営支援部

令和6年度全国優良畜産経営管理技術発表会で農林水産大臣賞を受賞された平野耕平さん・博子さん夫妻、後継者の友博さん・政子さん夫妻に、これまでの経営の歩みや今後の展望についてお話を伺いました。

平野牧場は、笠岡湾干拓地内の家族4人による経産牛70頭規模の酪農経営で、延べ39haの粗飼料生産、自給飼料を利用した自家育成、地域の農家や他産業との協力関係の継続により、「経営面・地域面において持続性のある家族経営」を目標にされています。



【平野耕平さん】

(畜産協会、以下協会) 工業高校、酪農大学校に進学されていますが、どのような思いで進学されましたか？

(平野耕平さん、以下耕平) 親が酪農をやっているのを見て、嫁も来ないし、これでは食えない、ヨイトマケの唄そのとおりに思っていた。大学へ行くにも勉強していないし、金がかかり親の負担になる。電気のはことは好きだったから、工業高校に進学し、技術者になる覚悟でいたが、高校3年生のときに、親から「お前は農家の倅だ。酪農を継ぐのは当たり前だ」と言われ、酪農大学校のお世話になった。酪農は親に付いて

やればできると簡単に考えていたが、酪大では周りは農業高校出身で、私は全くの素人、そこで、大変さに気が付いた。最初の1か月はよその国へ行っている気分で、柴田先生(現岡山県畜産協会会長)も厳しく、入学後、1週間で牛の性周期のホルモン支配についてレポートを出せと言われた。ホルモンは焼き肉しか頭になく、最初はきつかったが、基礎は徹底的に酪大で学び、先生や研修先から「酪農もやり方によっては食える」ことを学んだ。

(協会) 酪大卒業後に就農されましたが、そのときの経営プランは？

(耕平) 酪大での実習先で儲けている酪農を見て、そういう風にやらないといけないと思った。そこで自給飼料、自家育成を持つことの重要性を知り、そのことをずっと継続している。

もう一つは、小学生のときにオイルショックがあり、餌が入ってこず、今後どうやって牛を飼うか、という状況に直面した。すぐに解決したが、国際情勢が悪かったらそのようなことになる。酪大では、岡大や鳥大の先生が講師に来て、「牛は胃袋が4つあって、他の動物が消化できない繊維、草を食って生きる、他の畜産と比べると、これが酪農の魅力や強みだ」ところんと言われ、真に受けて、「自給飼料がいるのだな」と実感した。

(協会) 就農後、牧場の作業性が悪く、糞尿処理に行き詰まっており、廃業を考えていたとお聞きしました。そのときや、酪農の継続を決断したときの状況や心境は？

(耕平) 30頭の牛を牛舎に押し込め、借地を含めて田畑が70枚で3haだった。毎日草

を刈って、毎日サイロに詰めて、通年サイレージを確立したが、作業性が悪かった。酪大卒業後しばらくして、笠岡湾干拓地の試験栽培が始まったので、手を挙げた。そこで1区画1haの畑が3～4町、手に入った。そこにしがみついて、飼料生産を続けてきたが、農地として買うには高いことが分かり挫折しかけた。

廃業を考えたのは35～36歳のとき。糞尿処理に行き詰まり、干拓地への入植も前に進まず、リセットして他の職業へ就いたほうがいい、工業関係の資格を持っていたので、そっちへ行こうかと思っていた。その頃に、他業種への誘いもあり、栃木県に、無線関係・電気関係の仕事を自分で始めるくらいの気持ちで見に行った。そのとき泊まった所が那須塩原で、朝早く目が覚めて酪農地帯を見て、「やっぱりわしは酪農せにゃあいけんのか、迷わずやりましょう」と決意した。

奥さんからは、「酪農はいい仕事、私は一生懸命やります。あんたは他の仕事をして構わないから私は一人で酪農をする」と言われた。「楽しいばかりで苦勞を知らないの、そういうことを言う」と思ったが、奥さん一人で成り立つわけがなく、その言葉に継続を後押しされた。

(平野博子さん、以下博子) 私は酪農が楽しくて、一人でもやろうと思った。

(耕平) 苦勞を知らないから。当時の牧場は混住化地域にあり、近所に迷惑をかけていたし、干拓地での牛舎建設も難しかった。

40歳過ぎて、「周囲の園芸農家から批判を受けるようなことをしない」との約束で、干拓地に牛舎を建てることができた。全て支援組織の方と周辺の農家のおかげ。その後、園芸農家とスクラムを組み、堆肥利用に協力してもらい、良い方向に進んだ。

(協会) 牧場移転を博子さんはどう考えていましたか？

(博子) やろう、やろうという気持ち。

(耕平) 42歳くらいだった。「失敗したら売り飛ばして、なかなか仕事がないけどいいのか？」と言ったら、「それでもいい」となったので、やってみることにした。のんびりした奥さん。

(博子) 割と何にも考えていないけど、鼻が利く。

(耕平) 「これは信用してはいけない」とか、そういう話をよくする。しばらく経って、「本当じゃったなあ」となる。

(博子) 鼻が利くから、物を考えないのだと思う。

(耕平) 以前の牧場は混住化が進んでいて、辛かった。「これじゃあ、嫁も来ない」と思っていたが、あまり気にしない人がたまにいた。

(博子) あまり考えてなくて、鼻が利いたただけ。

(協会) 現在の牧場周辺は、住宅ではなく園芸農家ですが、関係性は？

(耕平) 非常に大事にしてくれている。「タマネギもアズキも連作で駄目なので、畑を貸してくれ」と相談があり、「貸してしまうと私が作れなくなる」と言うのと、「それ以上のものを出すからローテーションを組もう」と言われ、「堆肥を入れてよくできている畑だけど使ってください」と痩せるまで預けておく。

(協会) 園芸農家とのローテーションはあまり聞かない。

(耕平) 1枚が1haできっちりしているので、入れ替えがやりやすい。

(協会) 連作障害対策になっており、園芸農家にとっても良いこと。

(耕平) 浜名湖のTMRセンターに行ったことがある。耕種農家とのマッチングを上手くして、耕種農家が、冬はブロッコリー、キャベツ、夏はデントコーンを作って、全部入れ替えてしまわなくても飼料生産を行っていた。

(協会) 酪農経営の魅力や家族経営の魅力は？

(耕平) 生まれた時からおやじがお前の仕事だとあてがってくれた。魅力と言われると難しい。他の産業なら魅力はいっぱい語れるけど、「農家の息子なんだから」と言われるとへこたれてしまって。電気関係ならぶわっと興味も沸くし、いっぱい魅力をしゃべれるが。高校の同級生は電気関係の仕事をしており、同窓会では、惜しがってくれる。「なぜ電気へ行かなかったのか」と言われるが、親父が譲らなかったから、しょうがない。電気関係は、酪農しながら勉強していた。何もならないけど、奴らに持ち資格は負けなかつたかと思っていた。

今、何が嬉しいかといえ、講習会で子供にラジオを作らせて、喜んでくれるのが生きがい。毎年やっていて、お礼の手紙をくれる。日本の国は何で食うているかと言われれば、工業生産を売って食べていた。後釜を養成しないとイケない。そういう人が農産物を買って農業は成り立っている。「日本は資源がないので、物を作らないと稼ぐことができない」という思いはある。それを言い訳に趣味をやらせてもらっている。

家族でやる魅力は、無線のことをしても家族に酪農を任せられる。会社勤めではできない。阪神・淡路大震災のとき、この子(政子さん)が4歳の時に、非常通信で行っても留守番してもらえた。そういう活動もできる。そこからますます趣味の方へ力を入れてしまった。「なんで酪農を本気でしない？」と言われ、「しょうらんことはなかろう」と言うが、それ以上にそっちの方に興味がある。

(協会) 余暇はどのように過ごされていますか？

(耕平) ラジオ講習会。

(博子) 余暇がいっぱい。

(耕平) 「あんたの頭の中は、酪農が2割であとはそっちだ」とよく言われる。

(博子) 「もっと一生懸命やれば、もっと儲

かるのに」と言っている。

(耕平) そんなに儲けなくていい、食えればいい。御殿立てで、ええ車に乗らなくていい。本気でやれば、儲かりすぎて良くない。

(博子) よう言うわ。ほんまに。

(耕平) 儲けすぎると、後継者が道楽して終わる。

(博子) 後継者に道楽させんために、自分は遊んどるん？

(耕平) 食えればいい。えらい儲かりもしないけど食えないこともないのがいい。

(協会) 政子さんが高校生のか、に、「経営を継ぎたい」と伝えられたときの思いは？

(耕平) 親からいい状況で受け取っていないので、渡したくなかつた。わしの代で終わらせた方が良く思っていた。奥さんから「やりたいと言っているものをなんでやらさないのか」と言われ、納得した。

(博子) 私は鼻が利くので、はじめから後押しした。

(平野政子さん、以下政子) 牧場移転前は、小さくて、中学に上がる年に干拓地に来たので、こっちでの記憶の方が強く、来たばかりの頃は機械化して楽になっていて、お母さんは猫を抱っこして遊んでいた。1日1時間ずつで搾乳も終わるし、すごく楽そうだった。

(耕平) 作業効率の悪い牛舎で26年も辛抱してきたので、どうせやるなら新しいこと、繋ぎ飼より牛を放してみたかった。

(博子) 移転したときは、まだ搾乳が38頭しかいなかったのか、あつという間に終わっていた。「もう終わった」と、猫を抱っこして可愛がって、ゆっくりしていた。

(耕平) 移転時の大変さを知らないから。それを後継者や奥さんに言ったら、「嫌なもんだな」と思ったと思うけど。

(博子) ここで酪農をできることは幸せなことだと思う。みんなから仲良くしてもらっている。

(耕平) それを聞いて、「良かったなあ」と思う。

(協会) 後継者への経営継承についてどのような考えをお持ちですか？

(耕平) だいたいできているので、良い。繁殖成績も良くなっている。乳量を今より上げると繁殖成績の維持は難しくなるけれど、いろいろ経験しながら、繁殖成績は本当に良くなっている。10年ほとんど種付をやってくれている。畑のことはいろいろあり、分からない所もあるかもしれないけど。

(協会) 今後の酪農業について一言お願いします。

(耕平) 土地に根付いたことをしないと、消費者や国民を裏切ったことになる。簡単に言えばその一言。自分が儲ければ良いではなく、共に儲けないといけない。耕種農家、園芸農家といっしょに儲けないといけない。全県下で見ても、土地の有効活用をしていけば、まだまだ儲かる産業だと思う。水田がある地域は、水田を活用して、国の方針に従って、水田の機能を維持しながら酪農をしていけば、上手く行くはず。

(協会) 若い人たちへのメッセージをお願いします。

(耕平) 何も言うことはない。みんなよく勉強している。酪農だけでなく、みんな共に栄えましょうだけ。

今の草作りの機械体系になるまで45年かかった。機械を一度に買ったなら3回くらい倒産する。昔、親父から月に1万円小遣いをもらい、近所の発電機を1万円で買ってきて修理して、ハーベスターとの物々交換、そうやって草作りをしてきた。機械を買う金はなかったが、工夫してこつこつ増やしてきた。

のんびりやればいい。友達を大切に、いろいろな人の情報をもらいながら、中古の機械でも大事にしてきた。使わなくなったけど能力は残っている機械は、売ってもらった地域に返した。有効に活用してみんなで伸びていけばいい。



【平野博子さん】

(協会) 結婚前、就農前は、何をされていましたか？

(博子) 保育士をしていた。その頃は保母さん。

(協会) 耕平さんとはどこで知り合いましたか？どんなところに惹かれましたか？

(博子) 友達の結婚式で、耕平さんが司会をして、私がアシスタントをした。その後、「一緒に遊びに行ってくれ」と友達に言われ、遊びに行った。

(耕平) 結婚式のカップルのお父さんが、司会をしているのを見て、ずいぶん後押ししてくれた。毎日来て、「あの子がええぞ」と言ってくれた。友達も「自分達だけが幸せになってはいけない」と強く勧めてくれた。本当に周りにいい人が多い。

(博子) どこに惹かれたか？頭が良い人だと思った。私はあまり賢くないので、あんまりものを考えず鼻で勝負するから、頭の良い人と結婚しないといけないと思っていた。この人なら賢い子ができると思った。

(協会) 酪農に対してどのような印象・イメージをお持ちでしたか？実際に就農されてからの印象は？

(博子) 主人に会う前は、農業で食べていけると思っていなかった。小学生のとき先生が「農業はサロンパスがいるばかり」と言っていた。周りも兼業農家が多かったので、農業だけで食べていけるのがすごく不思議だった。ただ、中学生のときの立志式で、三宅明さん（元浅口酪農加工販売農業協同組合組合長）が講演に来てくれて、

子宮脱の話をしてくれて、一升瓶を突っ込む等の楽しい話をしてくれた。酪農の楽しさを聞いて、動物の生態が好きだったので、おもしろいなと心に残っていた。

主人は、話をしに来てくれたおじさんと同じ職業だと思って、印象に残った。

(耕平) 故人になられた人も含めて、周りの人に恵まれていた。

(協会) 政子さんから「経営を継ぎたい」と伝えられたときの思いは？

(博子) 後押しした。「一緒に作業したら、楽しいだろうな」と思った。一緒にお菓子食べて、猫と遊んで。

(政子) お互いその程度。

(耕平) のほほんとしたのが好きだったのでは。中学の頃から用事がないときには夕方から一緒に来て、途中スーパーで買ったゲソ天を食べて、仕事を手伝ってもらって、それが良かったのでは。

(博子) いっしょにおやつ食べて、いっしょに搾乳して、そこで宿題したりして。

(耕平) 素朴なものだった。ものすごく儲かるわけではないけど、食べられないわけでもないで、その領域が良かったのでは。

(政子) そのころはとても楽しかった。

(協会) 両親と一緒に過ごせる時間が多いのはいいこと。サラリーマンは子が起きている間に帰れないことも多い。朝も起きる前に出かける。そういう面が家族経営の良いところ。

(協会) 図書館で酪農や牛乳についての読み聞かせをされていますが、きっかけは？どのような思いで取り組まれていますか？

(博子) 図書館からの依頼で始めた。絵本が好きだったし、短大が幼児教育科で児童文化部に所属し、子供に人形劇や読み聞かせ、一緒に遊んだりしていた。仕事が忙しいながらも、読み聞かせだけは一生懸命してきたので、絵本は楽しいということをお供達に伝えてあげたい思いがある。

(耕平) 以前の牛舎周辺は住宅が多かったが、子供の友達を寄せて、家の前の田んぼ

にジャブジャブ入って、ドジョウ掬いやオタマジャクシ取り、そんなことを積極的にしていた。遊びに来る子の親御さんも理解があって、「こういうことは自分達でできないから、どんどん遊ばせて」と言われた。

(博子) 保育園や幼稚園の後に、子供の友達に「一緒に遊びにおいで」と言って、田んぼでいっしょに遊んだり、読み聞かせをしたりしていた。

(協会) おからくの女性部の委員長をされていましたが、農家同士の繋がりを深めていくために大切なことは？

(博子) 女性部には、すごく誘ってもらって、無理やり誘ってもらって、引きずり込まれるように入った。「忙しいから出られない」と思っていたが、出てきている人は、忙しい中でも時間を作って出て来ている。出て来られるから出て来るのではなく、時間を作って出て来ている。「ちょっとでもみんなと話して勉強しよう」とかそういう気持ちがある人が、出て来ているから、「どんどん、みんなを引っ張り込まないといけない」という思いで委員長をしていた。これからはそういう風に後押しできたらと思っている。

(耕平) お父さんがやかましく言って、わりと女性を家に繋いで出さないようにする。委員長になると全国に出かけて行くので、留守番をしていた。

(博子) 家族の理解がないと委員長はできない。

(耕平) 行くと疲れてではなく、元気になって戻って来るからいい。だから、長く委員長をせず、次々とやってもらいたいと思っている。

(博子) みんなに出てもらおうようにしないといけない。今は酪農家が少なくなっている。前は地域にいっぱいいて、すぐに集まって何かできていた。今は県下で集まらないと気の合う友達もできないだろうし、良い活動と思う。フレッシュミズの出席率はよい。今頃はお母さん世代が元気で、お

嫁さんがなかなか出られないので、両方出てもられるようフレッシュミズを作った。一家で今まで一人だったのを二世代で出やすいようにした。うちは親子だけど、お姑さんとお嫁さん、2人仲良く出てくるところがいっぱいある。

(耕平) 一昔前は酪農を指導する立場の人が、お父さんよりもお母さんの方がしっかり話を聞いてよく勉強してくれるので、その延長上の女性部だった。

今は、生産技術のレベルが上がっているから外から教えてもらうというよりも、楽しいこと、気持ちが和むことをやっている。それに今は経営体制がそれぞれ違うので、共通のこととして楽しいことをしている。

(博子) 雑談でいろんな話ができるので、仕事の話など、ちゃんと聞いて帰れば自分の中に入ってくる。きっかけになるし、「みんなも頑張っている、自分だけじゃないな」と励みになる。



【平野政子さん】

(協会) 「酪農をしたい」という気持ちはいつからありましたか？

(政子) 中学になって干拓地に来たときから。両親の姿を見て楽しそうだったので、「いっしょにこの中で働いたら楽しいだろうな」とやりたくなった。

(協会) 友博さんとの出会いは？

(平野友博さん、以下友博) 大学。厳密に言えば高校の時に酪大のオープンスクールで知り合った。

(政子) 家が酪農家の初めての友達。

(友博) それから、メールで連絡はしていて、大学の入学式の飛行機が一緒だった。

(協会) 当初から夫婦での平野牧場での就農を考えていましたか？

(友博) 全然。大学卒業前に付き合いだした。そのときは広島ของบริษัทに内定していて、2年間だけ働かせてもらって、その後、結婚して平野牧場に就農した。

(協会) 酪農経営の魅力は？

(友博) やったら、やった分だけ儲かる。頑張ったらちゃんと返ってくると思っている。そこが魅力。

(協会) 余暇はどのように過ごされていますか？

(政子) 子供を連れて遊びに行く。

(友博) 実家が広島なので、実家に連れて帰ったりする。

(協会) 今後の目標は？

(友博) 子供をしっかり無事に育てる。

酪農に関しては、南海トラフを意識して、今できることをやってみて、様子を見ながら、ここでどれだけのことができるか考えている。大きな投資をして返せなくなるのも怖いので。報道も大げさなところもあると思うが、否定できない部分もある。

(協会) 将来子供には酪農をしてほしいですか？

(政子) 子供は自分のしたいことをしてほしい。自分で何に興味があるのか考えて、好きなことをいっぱい見つけてほしい。

(協会) 今後、どのような酪農のスタイルを目指していこうと思われますか？

(友博) 今までやってきたことは間違っていないと考えている。循環型酪農、これは絶対に変えるべきでない。今、お父さんがしているように、耕種農家との連携は絶対必要、土地をうまく活用しながら、地域との連携を考えている。農業以外の地場産業も少しでもお手伝いしながら協力していきたい。



【平野友博さん】

(協会) ご実家も酪農家であったとお聞きしました。「酪農をしたい」という気持ちはいつからありましたか？

(友博) 高校へ入るときには、酪農をしたかった。高校を出るところには、実家で酪農を続けることは難しいという状況だったので、どうしようかと考えていた。大学へ行って政子さんと知り合い、「酪農をしたい」と伝えたところ、平野牧場での就農を了承してもらえた。実家にも近いし、なんとかかなと思った。

(協会) 実家のご両親の姿を見ていて、酪農にどのようなイメージを持たれていましたか？

(友博) 大変だけど、楽しそうだと思っていた。酪農をするなら、休みはいらなと思っていた。今は、青年部に出るときや、実家に帰るときは、休みをもらっている。

(協会) 平野牧場で就農されるときのお思いは？

(友博) 迷惑は掛けないように、一生懸命働いて、戦力にならないとは思われなかった。今は戦力になっているとは思っている。

(協会) 酪農経営や家族経営の魅力は？

(友博) 大変なときは大変だけど、みんなと一緒にできるし、みんなと一緒にしないといけない。ゆっくりできるときはゆっくりして、家族が同じ方向を向いているところ。

(協会) 次の目標は？

(友博) ホル雄が安い。「ホル雄を作るのが悪い、性選別精液を利用しろ」と言われたこともある。ただ、全部、性選別精液を利用し、繁殖を回していく自信がない。分娩間隔が悪くなると思う。

(協会) 後継牛生産に性選別精液を利用し、残りでF1や和牛を生産し、効率を上げる方法がある。

(友博) やりたいけど。

(耕平) ゆっくりやればいい。あんまり急いでやってもいいことにならん。

(友博) 表彰されているということが、完全な模範だと考えている。

(協会) 一度にやるだけがいいことではない。積み重ねなどの地道な歩みが必要。ただ、父さんのままではなくて、次の夢を持ってほしい。それが、魅力になり、励みにもなる。



オールインワンが自信を持ってお届けします



日本初!



**BOVINE
CRYPTO-EP**
100ml×10本入り



牛用飼育用混合飼料
ボバインクリプト-EP

ついに登場!

乾乳から分娩へ
移行期
サプリメント



乳牛・肉牛飼料の専門メーカー

株式会社

オールインワン

ご用命は

中国支店: 〒710-0826 岡山県倉敷市老松町1丁目2-40-101
TEL(086)427-6300 FAX(086)427-6011
E-mail: y-suwa@all-in-one.co.jp

〔肉用牛施策〕

岡山県の肉用牛振興施策について

岡山県農林水産部畜産課

1 はじめに

本県の肉用牛飼養農家戸数は、令和6年2月現在で363戸、10年前の約67%となっており、特に20頭未満の小規模経営を中心に年々減少傾向にあります。

表1：県内の飼養戸数と頭数

年	飼養戸数 (戸)	飼養頭数 (頭)	繁殖雌牛 (頭)
H26	544	32,500	5,750
R4	406	34,900	5,600
R5	378	35,100	5,470
R6	363	35,500	5,470

(農林水産省統計)

令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症拡大や海外情勢の影響を受け、資材費や燃料費等の高騰により、生産コストの増加は長期化しています。あわせて、畜産物消費の減退による枝肉価格の低迷や和子牛価格の下落により、肉用牛経営は非常に厳しい状況に直面しており、牛マルキンや肉用子牛生産者補給金の価格安定制度が発動するものの、生産基盤の弱体化が危惧される状況です。

特に、県内の和子牛価格については、令和5年4月から低迷し、市場平均価格は60万円を下回る状況が続いています。国では、その対策として、和子牛生産者臨時経営支援事業(令和5年度)に引き続き、優良和子牛生産推進緊急支援事業(令和6年度～)を実施し、令和8年度まで延長することとしています。また、肉用子牛生産者補給金制度における令和7年度の保証基準価格等の引き上げも行われました(表2)。

表2：令和7年度肉用子牛(黒毛和種)の保証基準価格等

	令和6年度	令和7年度
保証基準価格	564,000円	574,000円
合理化目標価格	444,000円	446,000円

県では、緊急対策として、令和5年度に和子牛価格低迷に対する経営支援を実施しました。令和6年度も2月補正予算において、支援を行うこととしています。

中長期的な対策としては、関係機関との連携を強化し、飼養管理技術の改善・向上や生産基盤強化対策等により、和子牛の資質向上や生産性の向上を推進しております。

2 岡山県和子牛生産者臨時経営支援事業(令和6年度2月補正予算(予定))

生産コストの上昇、和子牛価格の低迷を受け、和子牛生産者に対する経営支援を行います。

内容：県平均価格(四半期毎)が保証基準価格56.4万円を下回った場合に、販売した和子牛頭数に応じて補助金を交付。

対象：肉用子牛生産者補給金制度の契約締結済の生産者等が販売した子牛

対象期間：令和6年4月～令和7年3月

交付単価：四半期毎に、県平均価格を算定し、全国平均価格との差額を交付。

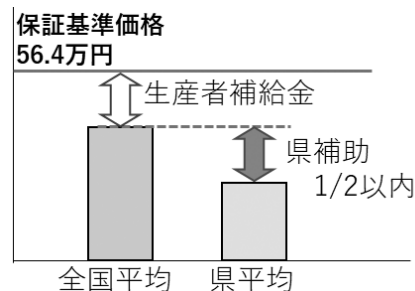


図1：発動イメージ

※生産者補給金が発動した場合、補給金の交付額を控除の上、県補助金を交付

3 主な肉用牛振興事業

(1) 和牛改良の推進

①肉用牛広域後代検定推進事業

受精卵移植技術を活用し、優良牛群の

維持確保を図るとともに、後代検定により精度の高い育種改良を図ります。

主な内容：農家の優秀繁殖雌牛からの採卵等

②伝統の「岡山和牛」再発見事業

「高能力繁殖牛保留対策」（令和4～6年度）岡山の血統を受け継ぐ優秀な遺伝子を持った繁殖雌牛の増頭を促進します。

内容：県有種雄牛産子の雌牛保留助成（補助率：5万円以内／頭）

令和7年度は同事業に引き続き、地域の雌系統を重視した雌牛保留対策を実施予定です。

事業内容（令和7年度予定）

- ・指定交配助成：1万円以内／頭
- ・雌牛保留助成：5万円以内／頭

（2）肉用牛生産基盤の整備

①肉用牛生産条件特別整備事業【拡充】

ア 規模拡大等支援

内容：肉用牛農家が経営規模拡大を行うために必要な施設機械等又は遊休農地を活用し放牧により省力的に繁殖牛を管理するための施設等の整備を支援します。

補助率：事業費の1／3以内（経営規模拡大型）

新規就農者支援では、肉用牛繁殖経営を新たに開始しようとする方に対し、繁殖雌牛の導入や経営開始に必要な施設、機械等の整備を支援します（事業費の1／2以内）。

（参考）直近実績

牛舎整備（増改築）、ICT機器導入等



写真1：令和5年度事業（ICT管理タグ導入）

イ 生産性向上対策（令和6年度～）

内容：繁殖成績向上のために行う代謝プロフィール（以下「MPT」という。）等の飼料管理改善に必要な検査を支援します。

補助率：事業費の1／3以内

岡山県農業共済組合等と連携し、血液分析結果と、現状の飼養環境や飼料給与内容等から総合的に、牛群の栄養状態を診断します。その診断結果をふまえて、改善内容を検討します。

今回、令和6年度の事業実施農家（A農家）事例をご紹介します。A農家は、和牛子牛資質向上対策協議会（後述）地域部会の指導対象農家で、農協や県民局、家畜保健衛生所等が巡回指導を行っています。「受胎率の低下」が課題であったため、本事業を活用しMPTを実施しました。MPT結果から、飼料給与内容の見直しや繁殖検診を行った結果、受胎率の向上につながりました。A農家は市場評価の高い子牛づくりを目指して意欲的に取り組んでいます。今後も引き続き、地域部会において、分娩・哺育育成・セリ出荷等に向けて、継続的に支援してまいります。



写真2：指導風景（MPT結果報告会）

繁殖経営では、分娩間隔の短縮（空胎期間の短縮）を図り、出荷子牛頭数の確保が肝となってきます。子牛取引価格が60万円を下回る中、発情周期が1周期延長するだけでも、年間出荷頭数の減少・所得の減少に陥ります。繁殖管理面等で課題がある場合、MPT等をうまく活用することで経営改善にもつながりますので、本事業に興味を持たれた方は、所管の農協、県民局や家畜保健衛生所にご相談ください。

(3) 和牛担い手育成対策

(一社)岡山県畜産協会主催の「和牛入門講座」や「和牛未来塾」等を通じ、新規参入者や後継者等、新たに和牛経営を始める方を支援しています。

4 支援体制

和子牛の資質向上を図るため、平成20年から、「岡山県和牛子牛資質向上対策協議会(構成団体:全農岡山県本部や農協、(一社)岡山県畜産協会、岡山県等)」において、肥育農家が求める発育良好な子牛(四ツ☆子牛)の生産・増頭に向けた取組を行っています。四ツ☆子牛の認定業務のほか、各地域部会では、農協や県民局、家畜保健衛生所等が中心となり、指導農家を選出し、巡回指導等を実施しています。子牛の哺育育成技術の向上のほか、適正な繁殖管理により、分娩間隔の短縮や元気な子牛づくりを推進しています。また、地域部会の活動においては、9月上旬に中間報告を行い、令和7年度に向けて年度末に成果報告を実施予定です。和子牛価格低迷により厳しい時期だからこそ、飼養管理の改善等に努め、四ツ☆子牛の生産に取り組んでいきましょう！

5 第13回全国和牛能力共進会北海道大会

●主催

公益社団法人 全国和牛登録協会

●開催期間

令和9年8月26日(木)～8月30日(月)

●開催場所 北海道十勝地方

種牛の部 音更町 肉牛の部 帯広市

●大会テーマ

「魅力発信 新しい力でつなぐ
和牛の未来」

○県スローガン

『晴れの和 笑顔の和 岡山和牛』

岡山県出品対策協議会では、令和9年大会本番に向けて、県スローガンの公募を実施し、県内高校生を中心に189名から応募がありました。当協議会では応募のあった作品の中から、県立新見高等学校の吉尾さんの作品「晴れの和 笑顔の和 岡山和牛」

を県スローガンに決定しました。そのほか優秀作品2点を選出し(表3)、10月4日に受賞者3名を表彰しました。

表3：県スローガン入賞作品3点

内 容	受賞者
最優秀賞 (県スローガン) 晴れの和 笑顔の和 岡山和牛	新見高校 吉尾さん
優秀賞 未来へつなぐ 古くからの 伝統 誇りの岡山和牛	瀬戸南高校 小路さん
優秀賞 晴れの国岡山和牛 繋ごう未来	高松農業高校 青木さん



写真3：県スローガン表彰式

さて、開催まであと3年を切りました。出品候補牛作出に向けた、現在の取組状況をご紹介します。

まず、肉牛の部は、6～8区からなる去勢肥育成績を競う部で、県内11農家が取組予定です。令和6年11月中旬から12月中旬にかけて指定交配や受精卵移植を実施し、令和7年8月27日以降に出品候補牛が出生し始め、月1回の巡回を行う予定です。種牛の部は、1～6区からなる牛の姿や形を競う部で、令和7年2月15日から、6区総合評価群の指定交配を中心とした出品候補牛の作出が始まります。受精卵移植も活用するため、採卵も実施しています。また、特別区(高校及び農業大学校)では、瀬戸南高校及び新見高校の県内2校が取組予定です。令和7年3月から指定交配等が始まります。

令和9年の北海道大会に向け、「晴れの和 笑顔の和 岡山和牛」を掲げ、士気向上を図り、優等賞に向けて県一丸となり、取り組んでまいります！

〔県民局だより〕

「GOGO千屋牛！応援事業」で北海道全共へ！

備中県民局畜産第二班

令和9年度開催予定の全国和牛能力共進会（全共）北海道大会に向け、県内で出品対策が進められる中、新見地域においても様々な取組が始まっています。

地域のブランド和牛である「千屋牛」を推進する「千屋牛振興会」では、今年度、備中県民局の提案型事業である備中地域みらいづくり支援事業「GOGO千屋牛！応援事業」の中で、全共に向けた視察研修と実証試験を行っております。当班としても本事業の活動を支援しておりますので紹介いたします。

1 視察研修

農家の飼養管理技術を向上させ、北海道全共で上位入賞を果たすため、鹿児島県、兵庫県、島根県の3県へ視察に行きました。

（1）鹿児島県

全共特別区（高校及び農業大学校の部）への出品を目指す岡山県立新見高等学校（新見高校）の先生や生徒たちと、前回の鹿児島全共で優等一席に輝いた鹿児島県立曾於高等学校（曾於高校）や曾於中央家畜市場、和牛繁殖農場を見学しました。



曾於高校での研修

曾於高校では畜産を志す生徒たちと交流を深め、飼料給与の工夫等の飼養管理や、牛の馴致について学習しました。高校では、毎日縦100回、横100回ブラッシングし、牛と一緒に校庭を10周するなど、時間と愛情をかけて人に慣れてもらう工夫がされていました。

曾於家畜市場ではセリを見学し、岡山県の牛と鹿児島県の牛の体形の違いについて学習しました。

繁殖農場の見学では、温暖な鹿児島県で牛を飼うための細霧ミスト等の暑熱対策について学習しました。



鹿児島県繁殖農場での研修

参加した高校生たちは、「今回学んだ飼育方法を新見高校でも取り入れ、良い牛ができるようにがんばりたい」、「色々な対策を行い、牛が快適にすごせる場所を作りたい」と、研修で学んだことを生かしていきたいと意気込んでいました。

（2）兵庫県

地域の農家や関係機関で、但馬牛・神戸ビーフの生産地である兵庫県へ行き、但馬家畜市場と但馬牛博物館を視察しました。

但馬家畜市場では、兵庫県のセリを見学

し、但馬牛の特徴を調査しました。被毛の質が良い子牛が多く、また、多くの若い担い手が子牛を出品する様子が見られました。

但馬牛博物館では但馬牛の歴史や系統、但馬系のみを利用した閉鎖育種の中で近交系数の増加を緩和する交配等について講義していただきました。



但馬牛博物館での講義

参加した農家からは、「但馬牛の歴史や系統について分かった」、「兵庫県を越えられるよう若い力、エネルギーをみんなで育て頑張りたい」とのことでした。

(3) 島根県

鹿児島全共第6区（総合評価群）脂肪の質賞及び第7区（脂肪の質評価群）優等賞2席を受賞した島根県へ視察に行き、和牛肥育農場及び一貫農場で飼料給与メニューや飼養管理の工夫について教えてもらいました。



肥育農場視察の様子

視察先の一貫農場ではカーフハッチを手作りしており、こたつのヒーターユニットを活用して寒さ対策をし、塩ビ管を加工し哺乳瓶の固定を行う等により生産コストを低減するための工夫がされていました。



一貫農場の手作りカーフハッチ

参加した農家からは、「牧場によって色々な飼い方があるので持ち帰って研究したい」、「牛舎、牛の管理、飼料について多くのことを学ぶことができとても良い研修会だった」と好評でした。

2 実証試験

千屋牛の脂肪の質を改善し、食味を向上させるため、令和6年8月から飼料給与実証を実施しています。

肥育牛の出荷3ヶ月前から、牛肉中のオレイン酸を増加させると言われているライスオイルを飼料として給与し、オレイン酸含量を調査します。これについては現在オレイン酸含量の測定、結果の分析中であり、良い結果が出れば給与メニューに組み込むことを検討していきたいと考えています。

3 最後に

地域では農家や関係機関一丸となって全共対策に励んでおり、現在も出品牛の作出に向けた交配が行われているところです。今後、県民局としても候補牛の巡回等を通じて地域の活動を盛り上げていきたいと考えています。

〔技術のページ〕

鳥インフルエンザ発生農場における鶏ふん等処理対策 ～低水分鶏ふんに対する適切な含水率の探索～

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 環境研究グループ

【背景と目的】

高病原性鳥インフルエンザの防疫指針等では、汚染物品である家畜排せつ物やその堆肥化物を焼埋却処理できない場合、封じ込め措置後に60℃以上で発酵消毒することが求められています。しかしながら、処理対象物の水分が低すぎると発酵温度が十分に上がらず、経営再開に向けた防疫措置完了の妨げとなる恐れがあります。

そこで低水分鶏ふんの適切な発酵消毒方法について検討を行うため、その基礎試験として冬季条件下等における低水分鶏ふんへの加水量が発酵温度に及ぼす影響について検討しました。

【試験内容】

本試験では、水分の低い鶏ふんの適切な発酵条件を把握するため、採卵鶏の乾燥鶏ふんへの加水を行い、早期に60℃に達する含水率の検討を行いました。

試験期間は、夏季28日間、冬季42日間で実施しました。

試験区分は、表1、表2に示すとおりで、市販の乾燥鶏ふんとオガクズを重量比30%となるように混合して、それぞれ含水率が40%、45%、55%となるよう加水を行い、含水率10%の無加水区とともに夏季と冬季の気温条件で試験を実施しました。なお、冬季試験では、各区とも堆肥化開始後、数日経過しても発酵温度の上昇が認められなかったため、1回目の切り返し時に発酵助材として鶏ふん混合物の重量比5%に相当する150gの米ぬかを追加しました。

堆肥化は、小型堆肥化実験装置（図1）を用い、発酵温度などを調査しました。

表1 試験区分（夏季 気温23℃）

kg			
	乾燥鶏ふん	おがくず	加水量
無加水区 (10%以下)	2.3	0.69	—
40%区	2.3	0.69	1.38
45%区	2.3	0.69	1.79
55%区	2.3	0.69	2.31

表2 試験区分（冬季 気温8.7℃）

kg				
	乾燥鶏ふん	おがくず	加水量	米ぬか
無加水区 (10%以下)	2.3	0.69	—	0.15
40%区	2.3	0.69	1.72	0.15
45%区	2.3	0.69	2.15	0.15
55%区	2.3	0.69	3.29	0.15

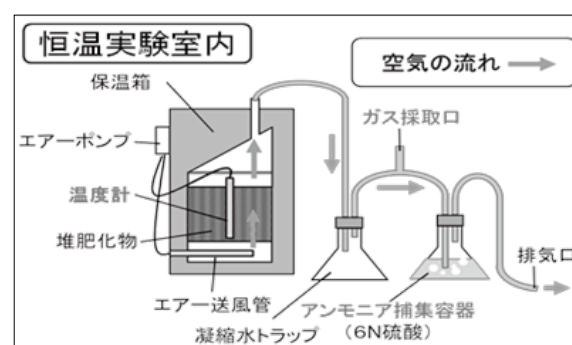


図1 試験装置

【結 果】

夏季試験の発酵温度を図2に示しました。発酵温度のピークは、無加水区を除き、55%区68.4℃、45%区68.4℃、40%区67.8℃と68℃前後であり、各区に大きな差は認められませんでした。また、55%区、45%区、40%区の順に温度が上昇を始め、ピークに

達するまでの時間は、加水量が多いほど早い結果となりました。

アンモニア排出量を図3に示しました。アンモニア排出量は、試験期間中において3回目の切り返しまでは加水量が多いほど高い傾向が示されました。

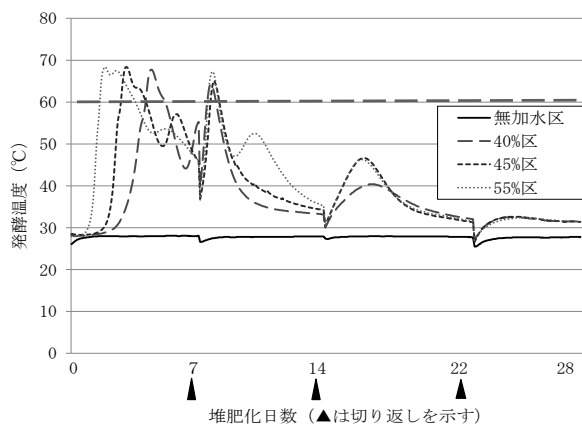


図2 発酵温度の推移 (夏季)

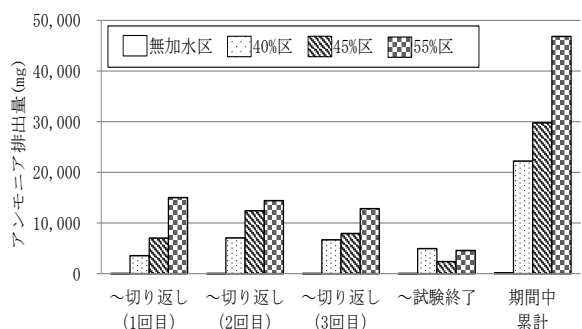


図3 アンモニア排出量の推移 (夏季)

冬季試験の発酵温度を図4に示しました。

試験開始から1回目の切り返しまでは外気温の影響を強く受け、全区とも温度上昇が認められませんでした。そこで、易分解性有機物を含み、堆肥化物中の微生物活性や発酵を促すとされる米ぬか(重量比5%)の添加により、その後は発酵温度のピークが各試験区とも60℃を超える結果となりました。また、45%区については温度上昇が遅延し、米ぬか添加後2回目の切り返し後に60℃を超えました。40%区については、さらに温度上昇が遅延し、米ぬか添加後3回目の切り返し後に60℃を超えました。

アンモニア排出量(図5)についても、夏季試験同様に55%区が最も多い排出量を示しました。

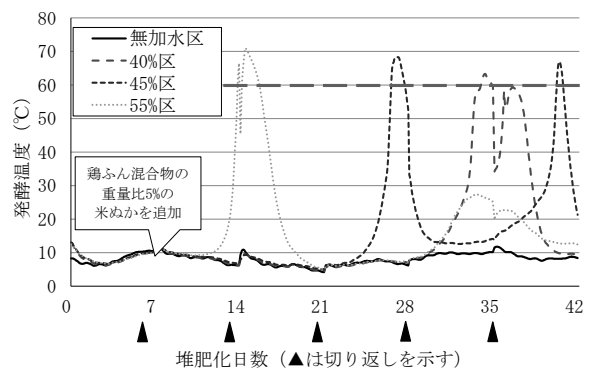


図4 発酵温度の推移 (冬季)

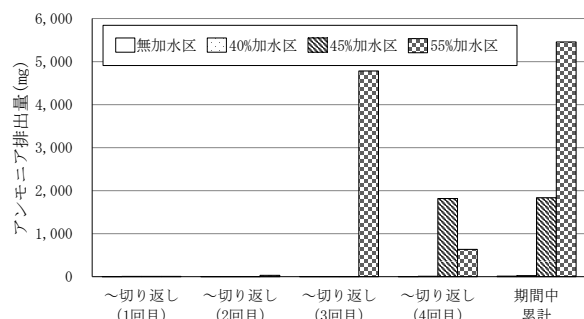


図5 アンモニア排出量の推移 (冬季)

【まとめ及び今後の計画】

今回の試験から、防疫作業の早期終了・経営再開のためには、堆肥化処理のピーク温度の到達が速い方が有利であり、そのための開始時の適正含水率は55%でした。また、気温が低い冬季に低水分鶏ふんの発酵消毒を早期に完了させるためには、適正含水率55%への調整と重量比5%の米ぬか添加が効果的と考えられました。

今後は、副資材としてオガクズが入手困難な場合に、現場で調達でき、処分対象となっている鶏用飼料を副資材として利用し、その効果及び発酵条件についての試験を実施する予定としています。

牛ボツリヌス症とその対策

津山家畜保健衛生所

1 はじめに

牛ボツリヌス症はボツリヌス菌が産生する毒素が原因で、牛に起立不能や麻痺などの神経症状が起こる疾病です。本症は死亡率が高く、数日以内に死亡し、ボツリヌス症が確定する頃には、同居牛も次々に死亡することが多く、大損害となるため、注意が必要です。

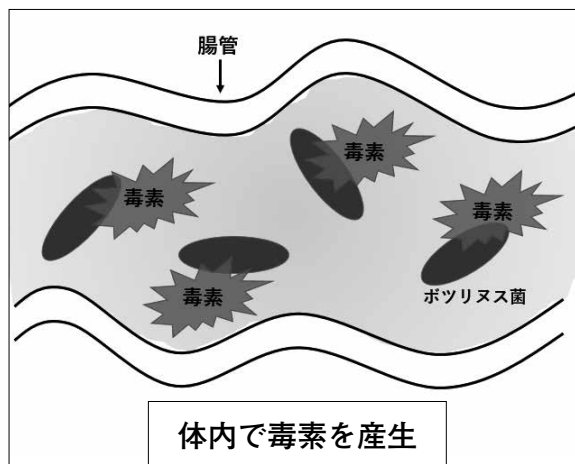
岡山県内でも近年散発しており、今年度は津山管内でも発生がありました。

本症に有効な治療方法はありませんが、対策を講じることで本症のリスクを減らすことができるため、今回はボツリヌス症の原因菌とその対策について紹介します。

2 ボツリヌス菌について

ボツリヌス菌は、土壌や河川、動物の腸管などの自然界に広く存在し、条件が整うと増殖して毒素を産生する菌です。本菌は毒素により血清型が分かれており、A～Gの7タイプが存在します。牛ボツリヌス症は、主にCおよびD型菌により起こりますが、B型菌による事例も報告されています。

日本では1994年に北海道でC型菌による



本症の発生が初めて報告され、それ以降は乳用牛、肉用牛の区別なく散発的にD型菌による全国的な発生が認められています。

また、本菌は効果のある消毒薬が少なく、加熱においては120℃、4分以上でなければ死滅しない強い菌です。

3 症状について

症状の重症度は摂取した毒素の量に比例します。おおむね毒素の摂取から1～3日以内に発症し、主な症状は食欲不振と衰弱、運動・筋肉麻痺（特に後肢で顕著）、流涎、排尿障害、視覚障害、咀嚼困難、嚥下困難などです。発熱は無く、多くは呼吸器系と循環器系の麻痺により6～72時間で死亡します。



4 感染経路について

野生動物の糞便から本菌が検出されており、本菌の伝播要因と考えられます。牛では品質の悪いサイレージや野生動物の死骸・糞が混入した飼料を食べることで発症します。特に、本菌を保有したカラスの糞便が餌槽や水槽に入ることによって牛が摂取し、発生する事例が多く確認されています。



餌槽の枠上に大量のカラスの糞

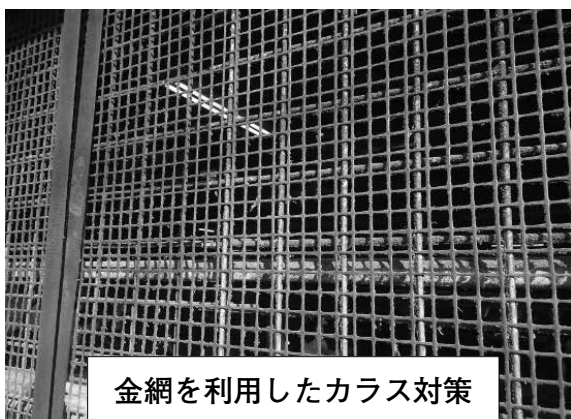


ネットによる飼料のカラス対策

5 対策

(1) カラス対策

最近はカラス対策として光センサーや音響装置が市販されています。カラスは学習能力が高く、慣れてしまうことが多いため、直接牛舎に入れないように、ネットや金網を併用した対策が効果的です。



金網を利用したカラス対策

また、カラスが農場内の飼料を食べて覚えると、その後も出入りすることが多くなるため、餌にはネットをかけて、カラスが食べられないように対策をすることが効果的です。

(2) 良質なサイレージ管理

発酵不良によって生じた酸性化不良のサイレージは毒素産生の危険が高まります。高水分を避け、しっかりと発酵させることが大切です。腐敗した飼料やサイレージは給与を中止し、変敗部分は取り除くようにしましょう。



サイレージの品質確認

(3) ワクチン接種

本菌の毒素に対するトキソイドワクチンでの予防が可能です。

本症の発生がある地域や、発生した牧場は定期的なワクチン接種が望めます。しかし汚染量が多い場合、ワクチン接種をしていても発症する可能性があります。ワクチン接種と同時に、日々の対策が重要です。

6 おわりに

主な伝播要因であるカラスは、ねぐらを変えて、別の場所に移動しながら生活しており、本菌を保有したカラスがいつ入ってきてもおかしくありません。日々の清掃・消毒に加え、徹底したカラス等の野生動物対策が求められます。

〔畜産現場の声〕

新たなスタート

倉敷市 難波 晃大

倉敷市で酪農をしている難波牧場です。倉敷のなかでも、海沿いの下津井に牧場があり、岡山の中でもポツンと一軒って感じであります。

自分が就農して、14年も終わりに近いですが、倉敷市の酪農家の軒数も、以前は両手以上あったと思いますが、今では、片手で数えられる軒数になりました。もともとポツンでしたが、軒数が減少したことは、寂しく思います。就農した当時は、経産牛15頭くらいで、多い時には45頭、現在は35頭くらいです。

酪農家になって15年を5年のスパンで考えてみます。

最初のスパンは、酪農ヘルパーをしながら、牛舎、堆肥舎を父親と増築しました。

その頃は、エサ代も安く、子牛の価格も右肩上がりが増えて、酪農って楽しくて、儲かるものだ、今思うといい時に就農したのだと思います。

次のスパンは、酪農ヘルパーも卒業し、牛舎に入るだけ牛を増やしていきました。ところがもともと広い畑もないので、堆肥の行き先に困るようになりました。このまま増やせば、牛にストレスがかかり事故も増え、近隣住民にも迷惑になるのではないかと、考えるようになりました。

10年以上前に、東京で若手酪農家と、国との意見交換会の集まりに参加させてもらったときに、これから先、酪農経営を続けるには、大型化、自給飼料をつくる、6次産業で付加価値をつけるのが有効と教えてもらいました。それを参考に、アイスの加工、販売なら、自分にも出来るのではと考えました。

もともと加工には興味がありましたが、知識はゼロでした。ゼロから、アイスのことを勉強しました。勉強すると言っても、県内、中国地方、四国地方にある、酪農家のアイス屋を見て、食べて、勉強した程度です。増頭に限界を感じ加工販売を始めた頃が、酪農業界も1番景気がいいときだったと思います。口では、酪農の景気がいい

ときに、加工販売の施設を整え、5年ぐらいで、収益を酪農半分、加工販売半分になればと言っていました。心の中では、酪農のほうが儲かるので、経営の足しになればと考えていました。今は、五分五分くらいの収益かと思います。

次のスパンは、アイス屋をオープンして、コロナの流行、酪農業界の不況と、良くない時期だった気がします。お店をオープンして、2年目でコロナ禍となり、2年から3年、いいのか悪いのか、わからないまま加工販売をしていました。それと同時に酪農業界も減速し、力の入れ方もアイス屋にウエイトを強くしていきました。牛も少し減らすつもりが、予想以上に減ってしまいました。

コロナも落ち着き、アイス屋にウエイトをかけた分、アイス屋の売り上げは伸びていきましたが、その分牛にかかる時間が減り、牛のことがおろそかになり、分娩間隔、乳質の低下、頭数は減少し、今に至ります。子牛価格の下落、飼料価格の高騰も、牛へのウエイトを下げた原因かとおもいます。

今現在、アイス屋の売り上げは予想がつくようになりました。次の目標を考えていますが、まだ見つかっていません。とりあえず、今年の目標は、牛にかかる時間を少し増やしたいと考えています。

就農した頃と比べ、エサも大きく変わり、仕事内容も変わりました。就農して10年くらいで牛のことはわかったつもりでしたが、ここにきてわからなくなりました。ゼロからのスタートではないですが、初心にかえり、今いる牛たちを大事にしたいと考えています。また、自分のしたいことは何なのかを、もう一度考えて、これから先に繋げていけたらと思います。

加工販売も、思ったより大変ですが、消費者と繋がりができ、地域との交流にも繋がりが、牧場にくるお客さんも増えました。多くの人に支えられて、現在に至ります。そろそろいい結果を出して、恩返しができたらと思います。

〔トピック〕

1 年を振り返って

岡山県畜産協会 武元 のの香

令和6年の3月に大学を卒業し、4月に畜産協会に入会し、約1年が経ちました。現在は家畜衛生部に所属し、家畜衛生に関する事務を行いながら、畜産について基礎から勉強をしています。

学生時代は農学部にも所属していました。農業に関する様々な講義を受ける中で、農業経済学に興味を持ち、農業経営について研究することができる研究室を選びました。研究室に所属してからは、県南の大規模経営を行う水稻農家についての研究を行っていました。農家さんからお話を伺い、経営に関する課題解決のために研究を行うことに楽しさを感じたことが、本会に入会するきっかけになりました。

入会してからは、初めての社会人生活ということもあり、不安もありました。畜産に関する知識もないことから、専門用語が分からず戸惑うことも多かったですが、協会職員の皆さんがどんなことも気軽に聞ける環境を作ってくださったので、安心して業務に取り組むことができるようになりました。

社会人生活にも慣れ始めて、最近は友人と四国へ旅行に行き、リフレッシュすることができました。趣味に時間をとることで、プライベートの時間を充実させることもできています。

畜産については講義で少し耳にした程度でほとんど触れたことがなく、これまで普段口にしていない畜産物がどのように生産されているかを意識したことはありませんでした。

本会に入会してから初めて牛舎を訪問し、畜産農家の1日の作業や、牛の飼養方法を知りました。飼料の内容や、堆肥の処理方法など、農家さんそれぞれに飼養管理のこだわりがあることを聞き、畜産経営の面白さを感じました。

そして、現在の畜産経営は、資材・飼料の高騰による生産費の上昇や、需要の減少による生産物価格の低迷から、非常に厳しい状況であることを知りました。何となく

今後も食べることができるだろうと考えていた国産の畜産物が、食べられなくなるかもしれない現状を知った時には大変驚きました。特に私は乳製品が好きなのですが、国産の牛乳やヨーグルト、スイーツが食べられない環境は考えられません。

このような厳しい状況の中で、どのように経営を継続していくか、どのような支援をしていくかについて考える経営診断という業務の重要性を感じました。

経営診断は、資金面や、労働力、飼養管理等様々な角度から農家さんのこれまでの経営状況を分析し、今後経営を改善していくためには何をすればいいのか、農家さん自身の思い描く経営にするにはどこを変えればいいのかを指導する業務です。今後生産費用が下がらず、さらなる高齢化や人手不足が見込まれる中、離農・廃業する農家さんを減らすためには必要不可欠な業務だと思います。

自身はまだ経営診断に携わったことがないので、先輩方の調査に同行し、畜産経営について学びながら、1つでも多く農家さんにアドバイスができるようにこれから経験を積んでいきたいです。

そして、岡山県の畜産を継続するため、少しでも農家の皆さんの力になれるよう、これから頑張っていきたいと思います。

また、多くの消費者は、現在の畜産情勢について目にする機会がなく、今までの私と同じように日本の畜産が危機的状況にあることを知らないと思います。今後の日本の畜産を維持するため、消費者の皆さんに今の畜産のことを知ってもらいたいです。



〔センムのヒトリゴト〕

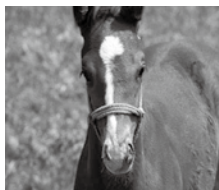
分断する世界に未来なし

一般社団法人岡山県畜産協会 中塚 陽二郎

トランプ政権は、大統領令を連発し、アメリカ第一主義の名のもと高関税や制裁をちらつかせて相手国を強引にねじ伏せる取引外交を押し進めている。アメリカの強大な経済力をもって他国に脅迫まがいの譲歩を迫る手法は、短期的には利益があるかもしれないが、長い目でみればアメリカにとっても不利益となり、国際社会からの反発も避けられないであろう。ロシアのウクライナ侵攻、パレスチナ問題など、武力による現状変更が一部の権力者によって行われている昨今、国際協調の重要性がますます高まってきている最中に“アメリカもか”と思ってしまう。勿論、双方に立場や言い分はあろうが、力のある者が弱者に配慮できる社会でありたいものだ。

確かにアメリカにとって不法移民の問題は複雑で深刻な問題だろう。そもそもアメリカは移民の国であるが、正規の手続きを経た移民を想定したものであり、メキシコ等の隣国から多くの不法移民がやってくるのをアメリカが面倒を見ることへのいら立ちは理解できる。今後、わが国にとっても移民問題は避けては通れない難題となるだろう。我が国の経済界でも労働力不足のため外国人労働者が必要であろうが、日本国民が享受できる社会制度を税金等を払わず利用したり、犯罪を犯す者も後を絶たないのが現実である。受け入れに当たっては、しっかりとした管理体制と毅然とした運用がなされないと国民の理解も得られないし、許容にも限度がある。物事、きれいごとだけでは成り立たないから難しい。

さて、話は変わるが、あらゆる分野で人材確保が困難となっており、地方や中小企業では事業継続が困難な状況になっている。前述の外国人労働者に期待するところはあるかと思うが、いいことばかりではないのである。また、日本の教育事情にも少なからず危機感を感じている。大学生も3年生から就活が始まり、専門分野の学習機会が少ないのではないのか。某私立大学の教授が朝から晩までコメンテーターとしてテレビ出演し、いつ研究しているのか、講義は大丈夫なのか疑問に思う。高校卒（18才）の学力は世界でトップクラスかもしれないが、「数的思考力」では25才以降で右肩下がりに低下しており、リスキング（学び直し）の機会も少ない。英語教育も半世紀以上中途半端で進んでおらず、外国では、「日本人＝英語が話せない」と思われている。コンピュータやAI技術など最先端の開発競争でも英語を駆使できないと横一線のスタートにも立てない。待ったなしの課題は教育であり、将来への投資であることを肝に銘じたい。このままでは世界に通用する人材となるには英語圏の大学に進学するしかないかもしれない。実は、私は学生の頃から英語が苦手でコンプレックスをもっていた。大学受験も数々落ちたし、一浪もした。そのせいかもしれないが英語が堪能な日本人女性に憧れ妻にした。娘は、幼少の頃から英語圏で育てた。寂しい思いや苦勞もさせたが、活躍する世界が広がったことを思えば後悔はない。



メディバルグループ



動物の健康は 人の健康につながる

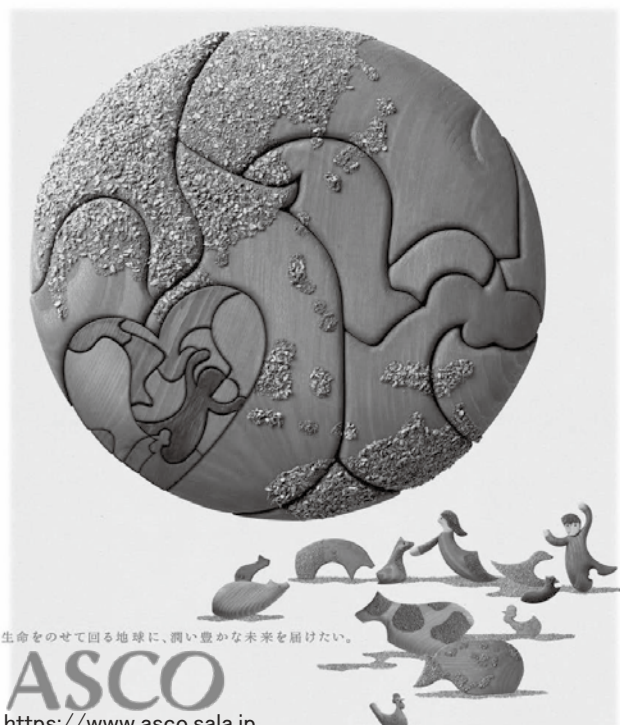
- 動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、あらゆる動物の健康維持に貢献します。
- 安全な畜水産物の生産をサポートし、獣医療の発展と食の安全・安心に貢献します。

MPアグロ株式会社

本社 〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13
TEL 011(376)3860 FAX 011(376)2600

岡山支店 〒709-2122 岡山市北区御津吉尾1-1 TEL 086-724-4880 FAX 086-724-4889
 AHSC西日本 〒702-8032 岡山市南区福富中2丁目6-18 TEL 086-902-2200 FAX 086-264-2500
 御津物流センター 〒709-2122 岡山市北区御津吉尾1-1 TEL 086-724-4816 FAX 086-724-4882
 東京本部・札幌・旭川・函館・帯広・北見・釧路・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・東京・北関東
 大阪第一・大阪第二・兵庫・広島・山口・鳥取・島根・高松・徳島・松山・宇和島
 福岡オフィス・福岡第一・福岡第二・熊本・宮崎・鹿児島・鹿屋
 札幌物流センター・帯広物流センター・盛岡物流センター・関東物流センター

人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します



生命をのせて回る地球に、調い豊かな未来を届けたい。

ASCO
<https://www.asco.sala.jp>

本社

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地
TEL 0532-34-3821 FAX 0532-33-3611

東京本社

〒103-0027
東京都中央区日本橋1丁目16番地3号
日本橋木村ビル7階
TEL 03-6225-5790 FAX 03-6225-5791

営業所

- ・北海道支店
札幌
- ・東日本支店
前橋、松本、旭、茨城、栃木、東京
大宮、宮城、福島
- ・中日本支店
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- ・西日本支店
広島、山口、米子、岡山、大阪、京都

高知競馬開催案内(2025)

地方競馬の収益金の一部は国内の畜産振興に役立てられています。

3月							4月（2月27日現在未定）								
開催日			備 考		開催日		備 考		開催日			備 考			
1	土			17	月			1	火			17	木		
2	日	○	ナイター	18	火	○	ナイター	2	水			18	金		
3	月			19	水	○	ナイター	3	木			19	土		
4	火	○	ナイター	20	木			4	金			20	日		
5	水	○	ナイター	21	金			5	土			21	月		
6	木			22	土			6	日			22	火		
7	金			23	日	○	ナイター	7	月			23	水		
8	土			24	月			8	火			24	木		
9	日	○	ナイター	25	火	○	ナイター	9	水			25	金		
10	月			26	水	○	ナイター	10	木			26	土		
11	火	○	ナイター	27	木			11	金			27	日		
12	水	○	ナイター	28	金			12	土			28	月		
13	木			29	土			13	日			29	火		
14	金			30	日			14	月			30	水		
15	土			31	月			15	火						
16	日	○	ナイター	ナイター(14:45～20:50)				16	水			ナイター(14:45～20:50)			

ホットニュース

令和6年度和牛シンポジウムを開催します。

●日時:令和7年3月24日(月)受付開始時間11:30、開催時間12:30~15:30

●場所:落合総合センター(真庭市落合垂水618)

●内容:~環境変化に打ち勝とう!~

(1)経済状況に打ち勝とう!「資質向上巡回指導から見えた課題と対策、そして実践」

岡山家畜保健衛生所 主任 馬場 誠 氏

(2)飼料価格高騰に打ち勝とう!「県産飼料生産・利用マッチングの推進」

農林水産部畜産課

(3)気候変動に打ち勝とう!「繁殖牛、子牛を対象とした夏バテの予防とケア」

笹崎獣医科医院 笹崎 直哉 氏

※和牛肉の消費拡大の一環として、昼食に弁当を準備しています。

あとがき

私は50年前に製造された車に乗っている。エンジンをかけるたび、少しむせるような音を立てる。最新の機器は一切なく、時には思うように動かない。不具合も多発する。そのたびにボンネットを開け、どこが痛んでいるのか探し、手を尽くして直す。オイルの匂いが手に染みつくこともあるが、不思議と嫌ではない。むしろ、その過程を通じて、車の構造を知り、長く付き合う術を覚えてきた。現代の車は、ある程度の年数が経てば買い替えるのが普通だろう。安全性能や燃費を考えれば、それは合理的な選択なのかもしれない。ただ、その分、車の本質に触れることは少なくなる。車を「使う」ことはあっても、「付き合う」ことはない。人間関係も同じではないだろうか。付き合い合った人が自分にとって「不具合がある」と感じたとしても、人は車のように取り替えることはできない。誰も欠点や癖を持っている。それを無理に直そうとするのではなく、「その人の特性」として理解し、向き合っていけば、次第にその人の本質が見えてくる。人は、取り替えるものではなく、共に生きるものなのだから。(H.F)

岡山畜産便り 2月号(冬季号)

第76巻 第2号(通巻715号)

令和7年2月27日発行

定価250円(消費税・送料含)

発行人 柴田範彦 編集人 藤原裕士

発行所 一般社団法人 岡山県畜産協会

〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18 岡山県農業会館5階

TEL 086-221-0511 FAX 086-234-6031

印刷所 ノーイン株式会社

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報 がんばる! 畜産! 8

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!

映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!

配信中の内容: 総集編 思いが繋ぐ畜産の未来/明るい未来へ向けて畜産DXの取り組み/乳用牛改良の取り組み/地域ぐるみで国産飼料生産! ほか



◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



お問合せ: (公社) 中央畜産会 経営支援部 (情報) TEL03-6206-0846

腐植ペレットを使った飲水用水質改善システム

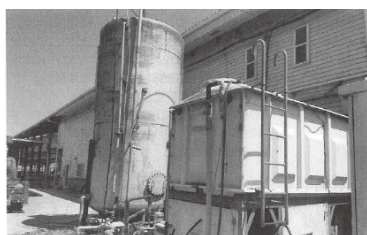
既存の飲水タンクを利用して、腐植資材をネットに入れて、
飲水タンクにつるし、ばっ気 (エアレーション) するだけ!



ペレット化された腐植資材

- ・塩素消毒では除去できない色度・濁度まで改善できる。
- ・フィルターによる除去と比べて初期投資コストが安い。
- ・糞尿の処理、畜舎の臭気低減など畜産の課題解決に利用できます。

畜産汚水処理・硝化脱窒・臭い対策の課題解決のご提案も致します



既存の飲水タンクを利用し、吊るして、ばっ気するだけ



エンザイム株式会社

〒143-0016 東京都大田区大森北 2-3-16
第一かぎわだビル 4F

TEL: 03-5493-2771 / FAX: 03-5493-2776

担当: 末吉 (090-5704-0011)

info@enzyme.co.jp